

## シラカバノクロボシハムグリハバチ

6～10月にシラカンバの葉内に潜るウジムシ（幼虫）。最大長約7mm。葉の表側を潜る。  
ごく普通にみられる。ときどき多発する。



1. 幼虫，体長6mm。2001/8/6。美唄市，シラカンバ。 2. 1の内部。

【学名】 *Fenusa pusilla* 【分類】 ハチ目 (Hymenoptera) , ハバチ亜目 (Symphyta) , ハバチ科 (Tenthredinidae) .

【分布】 北海道；ヨーロッパ，アメリカ。

### 【特徴】

シラカンバの葉に潜る虫には他にスイコバネガ類の幼虫が知られている。スイコバネガ類の幼虫は春に発生し，糞がつながる点で異なる。

### 【生態】

年3～4世代。成虫はシラカンバの葉脈の基部近くに産卵する。孵化した幼虫は葉肉を食べ成長する。1～2週間後には葉から出て土の中で蛹になり，次いで成虫になって地上に現れる。10月に土に潜った幼虫はそのまま越冬する。

### 【被害と防除】

ごく普通にみられ，まれに多発する。食害による木の衰弱や枯れは例がない。防除は普通必要とされない。庭木などでも時々発生する。気になるときは葉ごと幼虫を取り除く。

### 【文献】

1985. 農林水産省林業試験場北海道支場保護部. 北海道樹木病害虫獣図鑑. 223 pp. 北方林業会, 札幌. (生態, 被害, カラー写真) .

シラカバノクロボシハムグリハバチ habachi/sirahamu/

kaisetuh.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/8/23-2002/1/4.

1senyo.JPG, 1yochu.JPG

「写真1～2」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001.